

マンゴスチンエキス

MANGOSTEEN EXTRACT

マンゴスチンとは

有効成分

マンゴスチンについての研究

バイオアクティブズのマンゴスチンエキス

製品規格

●マンゴスチンとは

数あるトロピカルフルーツの中でもマンゴスチン(*Garcinia mangostana* L.) は独特の存在感を持つ果物で、その柔らかい果肉と繊細な甘みから、果物の女王と称されています。マンゴスチンはタイやミャンマーが原産といわれ、現在では東南アジア、インド、スリランカなどで栽培されています。その抗菌・抗寄生虫効果より、伝統的に赤痢、下痢、マラリアなどに処方され、また皮膚疾患などにも用いられてきました。

マンゴスチンから作られたお茶が、カリブ海地域では抗疲労目的として、ブラジルでは消化促進目的として飲まれています。フィリピンでは、葉や樹皮の煎じたものを熱さましの目的で使用します。



●有効成分

マンゴスチンはビタミン、ミネラルをはじめ、多糖類、アントシアニン、カテキン、キノン、スチルベン、キサントンなどを含んでいます。この中でも、多くの研究がなされている成分が、キサントンです。キサントンはポリフェノールの一つで、植物や果物に含まれる植物色素であるフラボノイドと近い構造をしている化合物です。自然界に存在するキサントンの種類は200ほどとされており、マンゴスチンはその内40種類も含んでいるとされています。特にマンゴスチンの果皮が、多くのキサントンを含んでいます。そのキサントンの中でも特に重要とされているのが、 α -マンゴスチンと γ -マンゴスチンです。これまで多くの研究がなされ、自然界の中でも突出した強力な抗酸化作用があると期待されています¹⁾。

●マンゴスチンについての研究

【抗酸化作用】 α -マンゴスチンが、イソプロテレノール誘導(ISO)ラットの脂質過酸化反応、および酸化防御系に与える影響を調べた実験において、 α -マンゴスチンが脂質過酸化反応を抑制し、細胞の抗酸化システムを保護する働きがあったことが報告されています²⁾。

【抗菌・抗炎症作用】マンゴスチン果皮より得られたキサントンが結核に与える影響を調べた実験によると、 α -マンゴスチン、 β -マンゴスチン、ガルシノンBがヒト結核菌の働きを抑制するとの結果が得られたとしています³⁾。また別の試験では、マンゴスチン抽出物の抗炎症作用が、ニキビの治療に有効であったと報告されています⁴⁾。

【抗アレルギー作用】日本で行われた研究では、マンゴスチンのエタノール抽出エキスが、アレルギーの炎症を促す化学伝達物質である、ヒスタミン及びプロスタグランジンE2の合成を抑制する作用があると確認されています⁵⁾。

【抗ガン作用】マンゴスチン果皮より得られたキサントンが、DLD1大腸ガン細胞に与える影響について調べた実験では、キサントンにガン細胞の成長を抑える働きがあることがわかり、特に α -マンゴスチンのIC₅₀値は、抗ガン薬である5-フルオロウラシルとほぼ同じであったとしています⁶⁾。この効果は、キサントンがアポトーシスを促すことから起こるものと考えられています。

●バイオアクティブズのマンゴスチンエキス

バイオアクティブズジャパン社のマンゴスチンエキスは、マンゴスチンの果皮からエタノール抽出したエキス末で、規格は α -マンゴスチン10%、20%。賦形剤としてのマルトデキストリン以外は、いかなる添加物や保存料も加えていませんので、安心してお使い頂けます。

参考文献

- 1) Jung HA *et al.* (2006) *Journal of Agriculture and Food Chemistry* 22:54(6):2077-82
- 2) Devi sampath P *et al.* (2007) *Journal of Biochemical and Molecular Toxicology* 21(6):336-9
- 3) Suksamrarn S. *et al.* (2003) *Chemical and Pharmaceutical Bulletin Tokyo* 51(7):857-9
- 4) M.T. Chomnawang *et al.* (2007) *Fitoterapia* 401-408
- 5) Nakatani *et al.* (2002) *Biol.Pharm. Bull.* 25(9) 1137-1141
- 6) Akao. *et al.* (2008) *Intl.Journal of Molecular Sciences* 355-370

●製品規格 (例：マンゴスチンエキス10%)

外観・性状	：薄茶～茶色の粉末
におい	：特異的
識別	：HPLC
溶解性	：水に可溶
重金属	：20 ppm以下
ヒ素	：1ppm以下
鉛	：10ppm以下
タップ密度	：0.30～0.80g/ml
ルース密度	：0.20～0.70g/ml
α -マンゴスチン含量	：10%以上 (HPLC)
微生物試験	：食品衛生法基準に準拠
梱包	：1kgまたは10kg



BIO ACTIVES JAPAN CORPORATION
バイオ アクティブズ ジャパン株式会社

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20-9F

TEL 03-5981-0601 FAX 03-5981-0602

E-mail: info@bioactivesjapan.com <http://www.bioactives.co.jp/>